



体力・氣力・努力

皆さんの大先輩である金栗四三さんが揮毫された書が、本校の図書館ホールに飾られています。私が高校生の時にはすでに飾られていたこの額。いま改めて仰ぎ見ると、大先輩が私たちに贈ってくださった温かいエールになんだか見守られているような気さえしてきます。

日本人初のオリンピック選手として、そして箱根駅伝の創設をはじめ日本陸上長距離界の父として

偉大な功績を残した金栗さんは、ここ玉名高校（旧制県立玉名中学校）の出身です。2019年の大河ドラマ「いだてん」の主人公として注目され、認知度が高まったと思いますが、1年生の皆さんには金栗四三さんについてどれくらい知っていますか？小学校で詳しく調べたという人もいるかもしれませんね。金栗さんの功績については、学校が再開してから改めてみなさんに話をしたいと思っています。

さて、玉名高校附属中学校に入学したばかりの皆さんですが、いずれ必ずこの場所を巣立つときがやってきます。卒業後にどこで何を学び、将来皆さんができる場所で活躍しているのか今は未知数ですが、あなたが将来行きたい場所へ行くには、やはり「努力」が必要です。そして、その努力を支えるためには「体力」「氣力」の充実が不可欠になります。目標を立て、その実現のために計画を立てて行動する。勉強でも部活動でも、生活面でも、自分を成長させるためには「計画と実行、振り返り、改善」のサイクルが大切です。小さな目標でもかまいません。この休校期間に何か自分で目標を立て、その実現を目指した取り組みを継続してみませんか。自分で決めたことを達成できれば、それは次につながる確かな自信になります。

何かしらの目標に向かって頑張った自分（あるいは頑張れなかった自分）のことは自分が一番よくわかりますよね。いざという勝負の時に「頑張った自分」の自覚がある人は自信をもって本番に臨むことができます。逆に、きついこと・やるべきことから逃げ続けたとしたら、そんな自分を一番よく知る自分には、いざという時やはり自信が持てないですよね。しかも、不思議なもので、一生懸命に頑張っている人には自然と応援してくれる人たちが出てきます。すると、それが本人の励みになって、もっと頑張れるという好循環が生まれます。きっと、金栗先輩も「体力」「氣力」を充実させ、「努力」を惜しまなかつたからこそオリンピック出場という偉業を成し遂げたのでしょう。「いだてん」のドラマの中でも、四三さんを物心両面で支える人たちが出てきましたよね。

私はみなさんに、将来周りから「頼りにされる人」「愛される人」になってほしいと思っています。職場でも地域でも、そのような人がいてくれる場所では物事がうまく回っていくものです。どこにいても、何をしていても、みなさんがそれぞれの場所で「この人がいてくれて良かった」と思われるような存在になってほしい、そのためにも自分と周りの人を大切にしながら、自分の能力を伸ばし続けてほしいと強く願っています。

文責：西村



